DENSO

6 月度 例会 個人 山 行 報 告 書

報告者	神戸	参 加 メンバー	CL :神戸
報告日	7／14		

山 域	愛知の里山	山行日	15 年 6 月 27 日（土）
山 名	海上の森・猿投山		
山行目的	社内登山大会検討（読図の山）		

配布先

集会:12

山行: 1 ﾘｰﾀﾞｰ

原 紙：集会担当者

ルート図（地図を見て正確に）

2.5 万分の 1 地図： 猿投山

コースタイム（天候：天気図記号）

6/27 曇り

7:40 自宅発 8:15 海上の森センタ横の駐車場着

9:25 物見山(海上の森最高地点)休憩(327m)

10:30 鉄塔 休憩(514m)

11:15 猿投山休憩(629m)

12:15 西宮、休憩

13:20 広見林道から西尾根ルートに登り返し

13:40 西尾根に戻る

14:15 物見山手前から林道へ

14:35 海上の池

15:20 駐車場着

森の入口,いきなり迷う

ですが道標多数

地図は海上の森範囲

物見山通過し尾根道へ

手書きの猿投山案内有

〈山行報告〉 10 月の社内登山を読図の山にする案として、猿投山に行ってみた。通常踏み跡の無い道に中々遭遇しないのでナビゲーション技術は軽視されがちである。一般社員はともかく部員に体験してもらいたくコースを選んだ。

(1) 人が入らなくて踏み跡薄いところ: 海上の森は通常林道を歩く。さらに猿投山へ歩く人は極少。

(2) 分岐が多くて迷う可能性が高いところ: 海上の森から猿投山赤猿峠へは分岐多。赤ペンキ要確認。

(3) 地図を見て、道標などで現在地が容易に推定できるところ: 猿投山赤猿峠周辺の鉄塔は便利

コースタイムとしては7時間だがアップダウンは少ないので体力的には問題ない。問題は本当に迷うことがあって、部員がリカバリできるかというところ。では安全サイドに立って迷うところを事前にピックアップしてわざと道迷いして、間違えないコツを伝えられたらいいかと思う。

例として、海上の森入り口でわざと左側に進む。また猿投山山頂から東宮に向かう途中２回ほど分岐があったので試してみた。

もう少しコースタイムが短ければオリエンテーリング的にチェックポイントを巡るのも良いと思うが、ポイントめぐりになると分岐で確認がおろそかになって危険だと思い直した。

ただし社内登山のような団体登山だと、前の人についていけば済むので、グループごとにコースを分ける工夫も必要かと思う。猿投山だけにすれば安全サイドに振れるが、主要道以外現在地把握が難しい山なので、ただコースバリエーションを増やすだけで道迷い体験は困難かと思う。

ッチ・エピソ
由に

猿投山西尾根までに迷いそうな地点. 正解は左

頂上から東宮へわざと道外す

〈リーダー所見〉 一般公募の社員には海上の森回遊をあてがうのも考えたが、一周しても３時間。山道を往復して歩くコースとの時間差が大きいのも懸念点。温泉は長久手ござらっせより竜泉寺の湯浄水店が良いと思う。

確認 (ﾘｰﾀﾞｰ) 神 15/06/28 戸

作成 (報告者) 神 15/06/28 戸